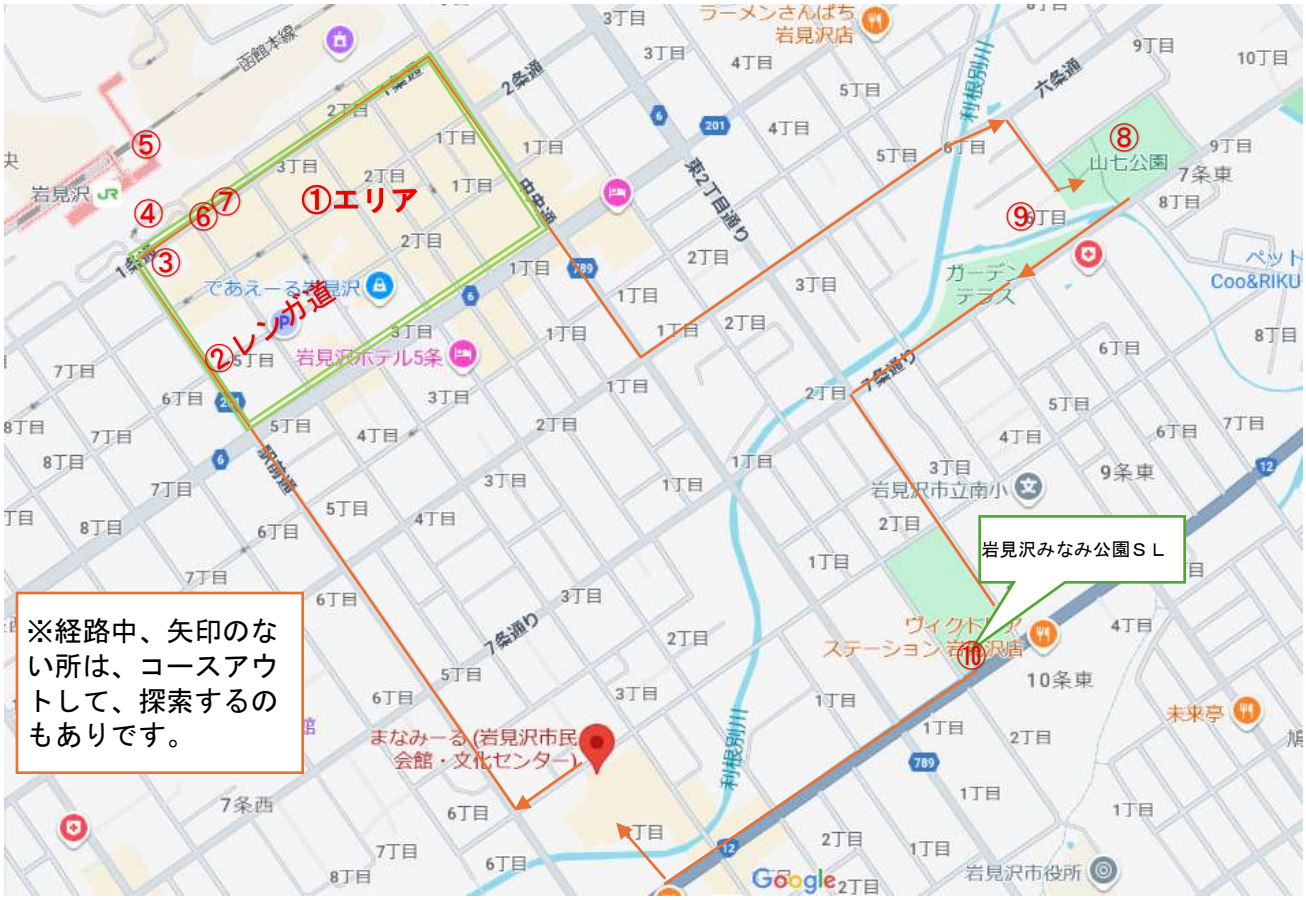
# 岩見沢周辺撮影会案内　①岩見沢駅方面

2024.11, 2025.5

　駅方面は、アーケード街の残る商店街と、レンガを多用した施設や町並みがあります。また、公園緑地が数多くあり、市民がふれあえる場を提供しています。今回は会場のまなみーるから駅・商店街方面、公園緑地の一例を経由してまなみーるに戻るコースです。




①

②

③

④

①駅前商店街はアーケード街となっていて、例えば少し古びた感じや懐かしさを表現することが考えられます。また、四角く抜いてみるのも手かもしれません。

②レンガの建物も多いのですが、レンガ敷きの道も一部存在します。何かと対比すると面

白いかもしれません。

③また、駅近くなるとバラの塔があります。秋口は少し花も少ないですが、色々な形で被写体にはなると思います。

④駅前はメタセコイヤやライラックなどの樹木と彫刻の調和が美しい空間です。市民がくつろぐ場でもあります。また、レンガとガラス張りの駅舎も映えます。

⑤

⑥

⑦

⑤駅の連絡橋からは、線路がたくさん敷かれている様子が見えます。それ以上に人の往来やガラス越しに入る日差しが絵になる場所です。

⑥「おもちゃと人形のはた」は昭和時代にタイムスリップしたようなお店です。駄菓子も売っているのですが、何しろ懐かしく貴重なおもちゃやポスターなどがたくさん残されています。店主の畑さんはとても優しい方で、これらの玩具や文化を守るために、続けられるところまでがんばりたいとおっしゃっています。

⑦「石炭」・「鉄鋼」・「港湾」とそれらを繋ぐ「鉄道」を舞台に繰り広げられた北の産業革命「炭鉄港」関連施設を紹介し、発信する場が「炭鉱の記憶マネジメントセンター石蔵」です。場所は、先述の「おもちゃと人形のはた」さんの隣です。鉄道や炭鉱に関する物品がたくさん並んでいます。かなり暗いので、手ぶれに注意してください。また、明治時代に建築された「石蔵」は日本遺産「炭鉄港」の構成文化財の一つであり、建物そのものが長い歴史を物語っています。

⑧

⑨

⑩

⑧岩見沢市には公園緑地が各所に点在しており、どこもよく整備されています。中でも、「山七公園」は和風作りの公園で、大木がたくさん残っています。東屋で一休みするのもちょうどいいかも。ただ、紅葉には若干早いかもしれません。

⑨ガーデンテラスは醸造場跡地につくられた建物です。レンガ積みの回廊、モニュメントなどがあり、市民の手づくりレンガの屋外ステージが設置されています。回廊ごしにシルエット狙うもよし、レンガの並びを絵にするもよしです。

⑩岩見沢みなみ公園には、Ｃ５７およびＤ５１の２両のＳＬ車両が展示されています。保存状態もいいので、鉄道に興味がない人でも、その質感や迫力を目にすることができます。

⑪まなみーるの裏側も、おすすめの撮影スポットです。利根別川にかかる千樹橋や、そこからの風景などもなかなかです。

(2025.8 撮影)→

移動時間の目安（徒歩、撮影時間除く）

まなみーる（１５分）岩見沢駅前（２５分）山七公園（３分）ガーデンテラス（１５分）岩見沢みなみ公園（７分）まなみーる